

2025年1月29日
西日本旅客鉄道株式会社

山陰いいもの探県隊 商品開発支援事業 2025年度 参加事業者募集

JR 西日本山陰支社では、山陰地方の伝統・文化・自然・食といった地域の魅力を発掘し、「山陰いいもの探県隊」として広く発信する取り組みを行っています。その一環として、地域の事業者の皆様と一緒に商品開発に取り組む「商品開発支援事業」を 2025 年度も実施いたします。

この事業は、地域の「いいもの」にさらなる価値を付加し、販路拡大を目指すチャレンジを事業者の皆様とともに進めるプロジェクトです。「地域のいいものをもっと多くの人に届けたい」「商品をさらに磨き上げたい」という想いをお持ちの事業者様、ぜひご応募ください。

1. 事業参加のメリット

★ プロの力を活用

商品開発支援には、トータルフードラボ株式会社の岸菜賢一代表がアドバイザーとして参画。専門的な視点から、商品にさらなる魅力を加えるお手伝いをいたします。

★ 販路拡大を後押し

開発した商品は、「きしな屋ほんまち店(大阪市)」、「おみやげ楽市(鳥取、米子、松江など)」、「JR 西日本公式産直オンラインショップ ディスカバーウェストモール」でのテスト販売を実施予定。商品を実際の市場に届けします。

★ とともに挑む

他の参加事業者など様々な関係者とのつながりを深めながら、新しいアイデアや取り組みを生み出す場となります。

2. 応募要項について

2025 年 2 月 6 日(木)公開予定の「山陰いいもの探県隊」公式ホームページにて、詳細な募集要項をご確認ください。



「山陰いいもの探県隊」とは

山陰地方は、古くよりこの国の神話のふるさとであり、人々が心の中に抱く”日本の原風景”を育み、守ってきた地域です。

山陰いいもの探県隊は、そんな山陰地方にある伝統・文化・自然・食などを、“いいもの”という視点で掘り起こしていきます。

地元の人しか知らない、本当のいいもの。それには必ず、様々な人たちの想いやストーリーがあります。

世界中の人々に、奥深い魅力を届け、“いいもの大国”山陰にお越しいただく。それが山陰いいもの探県隊のミッションです。

詳しくは、ホームページ(<https://www.sanin-tanken.jp/>)をご確認ください。

【別紙】2024 年度に商品開発した商品と事業者

大山産そば粉と大山こむぎでつくった大山そば

○商品開発支援先:有限会社長田製麺所

○商品

【表面】



【調理例】



代表取締役 長田 賢一 氏



○大山そばの開発に込めた想い

「化学調味料を使わず、地域の個性を最大限に引き出した商品を作りたい」

そんな強い想いを持つ、代表・長田賢一氏。そのこだわりの強さから“変態”の異名を持つ奥出雲の「森田醤油店」と共に、専用の特製つゆを開発しました。このつゆは、化学調味料を一切使わず、だしから丁寧に煮出した職人技の結晶です。

さらに、つなぎとなる小麦には大山産の「大山こむぎ」を使用し、そば粉と小麦粉を絶妙な 6:4 の割合で配合。食感や風味に一切の妥協を許さず仕上げた「大山そば」は、地元の自然の恵みが詰まった特別な一品です。

駅弁AGARU(あがる)ビール

○商品開発支援先:島根ビール株式会社

○商品

【缶・瓶】



【色合い】



代表取締役 矢野 学 氏



○駅弁ビールが生まれるまで

「鉄道にゆかりのある商品をつくりたい」という熱意を語るのは、代表・矢野学氏。山陰いいもの探県隊とタッグを組み、駅弁の名店「アベ鳥取堂」と「一文字家」のアドバイスを受けながら、新たな挑戦を始めました。

その目標は、駅弁とビールの「1+1=3」の味わいを実現すること。64回にも及ぶ試作を重ね、飯南町産こしひかり、しょうが、藻塩といった厳選素材を隠し味に採用。地元の魅力を余すことなく詰め込んだ、この「駅弁AGARU(あがる)ビール」は、駅弁との相性を追求した至高の一杯です。